



校庭のイチョウの葉が色づき始めました。学校の周りではつわぶきの黄色いやさしい花が秋風に揺らいでいます。校舎をまわると、あちこちから来週の学習発表会に向けて練習する子供たちの声が聞こえてきます。コロナの感染状況が落ち着く中、当たり前前の学校教育活動を送ることができることに感謝の気持ちでいっぱいです。是非、今のうちにとつつい欲張ってしまいそうです・・・。

吉井北小の秋 ～交流編～

* 吉井北保育園より小さなお客様



吉井北保育園から、年長組さんが遊びに来てくれました。小学校を見学することで、1年生に上がる不安を少しでも解消しようとする取組です。保育園のみなさんが来るということで、一番楽しみに張り切っていたのは1年生です。お迎えして学校を案内するために、いろんな準備や練習を進めました。いつもが一番下の学年で甘えん坊な1年生ですが、この日は顔つきから違いました。保育園生の手を引きながら「ここは〇〇しつよ。～～するところよ。」と説明したり、「失礼します。学校探検に来ました。」とはきはきした声で言ったり、とっっても張り切って頑張っていました。1年生が成長する良い機会となりました。

来年度入学の皆さん、安心して入学してくださいね。

* 学ぶのは上級生の後ろ姿～縦割り清掃～

ストップしていた異学年交流も再開です。早速縦割り清掃を再開しました。本校の掃除の様子もずいぶん改善してきましたが、それでも未だに取り掛かりが遅かったり、時間いっぱいがんばらずにふらふらしたりしてしまう子供たちも時々見かけます。しかし、縦割り清掃の時は違います。近くに上級生がいて、どこをどうすればよいのかすぐに教えてくれます。困っていたらすぐに助けてもらえます。上級生も下級生に教えなければなりませんから、おのずと自分が一生懸命にしています。

下級生はそんな上級生の後ろ姿を見ながら多くのことを学んでいるようです。異学年のコミュニケーションは、時に教師の指導以上の力を発揮するようです。



今週の自学終了者！

- 6年 吉田 ゆの さん (12冊目)
- 6年 河野 みうるさん (16冊目)
- 6年 田代 ななこさん (11冊目)

どんどん中身もグレードアップしています！





校長室の窓から④ 「感情のコントロールが苦手な子供たち」

ここ数年、「感情のコントロールが苦手な子供」たちによく出会います。例えば、学習の中でちょっとうまくいかないとき。自分では一生懸命やろうとしているのに、上手くできない。例えば友達とトラブルになった。それに反論したいけどうまく言えない・・・等。それらがきっかけでイライラする。そう、ちょっとしたことがきっかけでイライラし、なかなかそのイライラを処理できないのです。そんな自分の感情をコントロールできない子供はどんな行動をとるかという・・・

⇒ 周りの人に当たる。不機嫌になる。何も言わず固まる。隠れる。ものに当たる・・・。エスカレートしてくると、「キレる」状態になってものを壊したり、暴れたり、教室を飛び出したりします。

そんな子供たちは「困った子」ではなく、実は「困っている子」なのです。

子供も実はそんな自分が「悪いことをしている」と認識し「止めなくちゃ」と思っているけれど「止まらない」自分に更にイライラしている様子です。



原因の一つは、自分の気持ちをうまく伝えることができない「コミュニケーション力」の不足にあります。自分が困ったことを言葉で言えない。SOSを言葉で伝えられない。自分の気持ちを表現できない。

ご家庭でも、こんな子供たちの様子はありますか？家では困った様子にすぐに親が気付く「どうしたの？どうしてほしいの？」と声をかけ、助けてあげることができます。しかし、学校では、特に友達との間ではなかなかそうはいきません。自分の気持ちは自分で言葉に出さないと伝わらないのです。小さなことでも「自分の気持ちを伝える経験」をたくさん積み重ねないと、だんだん複雑になってくる気持ちや状況は、とても自分で表現できなくなります。

学校では、こんな子供たちの気持ちを受け止め、寄り添いながらイライラする心を少しずつ落ち着かせようとしています。子供たち一人一人に寄り添い、時には保健室など教室外で落ち着くまで待ちます。たいていの子供たちは、しばらくすると落ち着きを取り戻し、教室に帰っていきます。

そんな子供たちに理解してもらいたいこともあります。それは「思い通りにばかりはならないこと」。学校は小さな社会ですから、思い通りにならないことの方が多いでしょう。しかし「思い通りになった」経験ばかりの子供には、それを受け入れるのは難しいことです。思い通りにならなくても耐える「耐性」を育てていくことの重要性を感じます。

学校でも急いでいるとつい結論を急いで子どもの言葉を代弁してしまうのですが、なるべく子供たち自身に言わせる、上手く言えなければ意思表示の合図をつくる等で寄り添っていきたくと考えています。



聞いてみて！観てみて！子育てのヒントがいっぱい！



佐世保市P連「語らいの広場」動画配信（～11/22まで）

先日本校PTAから案内が届いたと思いますが、「語らいの広場」の動画配信が行われています。講師浦川末子先生のお話は力強く、子育てへの示唆をたくさんもらえます！家事の合間に、ちょっと見てみてください。学習発表会后、学校でも視聴しますよ！



浦川末子氏

氏が県生涯学習課長時代に長崎でおきた幼児誘拐殺害事件をきっかけに児童福祉に傾注。「なぜ長崎で起きたのか？」「なぜ子どもが子どもを殺したのか？」その思いが氏を突き動かし、親子を救い、子供の幸せを願う様々な活動を積極的に行っていました。